

(様式第7号)

平成29年度 年度評価表

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴自然文化園		
指定管理者	公益財団法人舞鶴市花と緑の公社		
設置目的	市民の憩いの場、自然とのふれあいの場、レクリエーションの場とするため。		
選定方法	公募・非公募	指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
所管課	建設部土木課		

2 利用状況等の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	年度
利用者数(人)	38,971	37,534	29,794	33,472	
利用料金(円)	5,497,150	6,600,650	5,119,675	5,672,075	
指定管理料(円)	2,519,197	2,810,679	3,507,053	2,740,000	

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
アジサイ展の入場者数	32,000人	20,500人	19,305人	94%
ツバキ展の入場者数	3,000人	3,000人	2,693人	90%
総来園者数	—	32,000人	33,472人	105%
入園料収益	—	6,135,000円	5,672,075円	92%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	5,672,075	人件費	22,846,744
指定管理料	2,740,000	維持管理費	7,187,274
事業収入	3,028,050	事業費	3,123,372
その他	21,738,765	その他	21,500
合計	33,178,890	合計	33,178,890
差額			0

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	目標値に届かなかったが、アジサイ展は昨年度より来場者数を伸ばし高評価をいただいている。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	概ね施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営ができた。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	概ね施設の果たすべき使命(ミッション)に沿った運営ができた。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	◎	計画どおり実施されている。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	アジサイ展のイベント日の催しの充実を図り、来場者数の増加に努められた。次年度は更にイベント開催日数を増やす事と、集客方法の新規開拓については検討の余地あり。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	◎	アンケート結果から概ね満足が得られていると確認できる。職員の対応や施設の管理については特に高評価である。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	イベント毎にアンケートを実施し、来園者の意見を聴取できている。またその結果をまとめ共有できている。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	対処可能なものについては、その都度迅速に対応されていた。

(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	◎	直営による修繕や改修を数多く行なわれており、大きな節減につながったと判断できる。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	適正に行われていた。
収入増加のための取組が行われたか	◎	有料期間中の催し等の充実を図り、集客に努めた。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	管理が行き届いており、適切に行なわれていたと判断できる。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	使用器具の講習会や剪定講習会など研修の機会を随時設けている。
施設の平等な利用が行われたか	○	適切に行われていた。
個人情報の管理が適切に行われたか	◎	取得情報は、ネットに繋がっていないパソコンで操作。その後、分野ごとに管理簿に記録し、特定の職員のみによる施錠管理し、パソコン上は削除するなど適正に保管されている。
情報の公開が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
収支状況や会計処理が適切か	○	適切に行われていた。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	法定点検及び保守業務については、専門業者等に委託しながら適切に行われていた。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
危機管理、安全対策などは十分か	◎	園内が広いので図面や放送設備を用いた他、全職員を対象に防災センターにて実施訓練を行ったり、毎年訓練に工夫がみられる。消火器の蓄圧式への取替など安全対策意識が高い。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	管理運営にあたっては、法令を遵守し適正に行われていた。
(5) その他コメント		
サービス向上	イベント時には電動アシスト車椅子の無料貸し出しを行うなど、来園者の利便性向上に努めたことは、高評価を得ており、リピートに繋がっていくと考えられる。また、ホームページの更新は随時行なわれており、イベント時には3日に1回は更新し、状況発信を行った事はとても評価できる。今後は、有料期間中のイベント日の増加計画並びに、年間を通じて来園者を増やせる新規取り組み（特に長期休暇の間）を検討いただきたい。	
経費削減	外注業務を再考し、自社で材料のみ購入し、修繕・清掃を行った他、電気の利用状況を調査し契約見直しを行うなど、経費削減に積極的に努めた事例を数多くみることができた。	
施設の維持・管理	施設全体が老朽化するなか、適時適切な対応ができた。イベント時のアンケートからも、除草、剪定、清掃等を適正に行い、清潔な環境づくりに取り組んでいたと評価できる。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	4点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	電動車いすは好評であり、評価する。 実際の収支が分かる資料を作成されたい。	

《参考》 過年度の評価点

平成26年度	平成27年度	平成28年度	年度	平均
3点	3.28点	3.6点		3.29点